

20018

心カテ室におけるポリグラフの精度管理について

¹財団法人 仙台市医療センター 仙台オープン病院

富田 元沖¹、田沢 未森¹、宮本 靖大¹、千葉 美樹¹、鈴木 一郎¹

【目的】心カテ室においてバイタルサインシュミレーターProSim 8 を用いたポリグラフの精度管理の方法について検討する。

【方法】当院のポリグラフであるSIEMENS社製AXIOM Sensis XPの心電図、SPO2、非観血式血圧にFLUKE社製ProSim 8からの模擬信号を入力し、ポリグラフにて、その測定値の誤差を調べ有用性について検討する。【結果】それぞれに模擬信号を入力しその設定した値と表示された値を比較した。その結果、心電図やSPO2はほとんど誤差なく表示したが、非観血式血圧については入力値が高くなるほど誤差が大きくなる場合があった。【考察】ProSim 8によって心電図やSPO2の正確性を確認することができ、非観血式血圧については入力値が高くなるほど誤差が大きくなる場合があった。個別な特徴としては、SPO2については、各社のプローブに対応しているので用途が広く非常に有用であったが、観血式血圧では各社専用のコードが必要であり、準備が必要なため今回は検証していない。また、心電図においては様々なパターンの模擬心電図波形を出力できるため新人教育においてもトラブルシューティングなど実践的な教育指導に使用できると考えられ、その使用用途は広いと思われる。ポリグラフは定期的な点検は行われているものの、日常の業務レベルで正常かどうかをシュミレーターによって確認できることは非常に有用であり、また、突然の異常時にも即座に確認が取れるということでも有用であると思われる。【結語】心カテ室においてProSim 8を使用することでポリグラフの正確性が確認できた。